



「庭」

1930年、油彩・カンバス
112・0cm×142・0cm

大澤海蔵（1906〜71年）

本作を描く前年の1 鬼頭鍋三郎らの研究グループ、この作品よりやや小さな画面で「花菖蒲咲く庭」を描き、第10回帝展に出品入選しています。奥に見えている柵の位置や、やはりこの絵の花かでも描かれている花菖蒲の描かれ方など、同じ庭に居ながらにして少し方角を変えた構図で描いたことがわかります。

明朗な作風から、戸外で自然光を受けつつ写生された風景画、戦後にはひたすら室内での制作に打ち込み静物をモチーフとした穏やかな作風で親しまれました。

大川美術館企画展から

〈名画の扉〉

大澤は、名古屋市に生まれ、24年に上京すると、下落台で松下春雄らと共同生活をしつつ、川端画学校に学びます。辻永に師事し、

（小此木）